



「親子ひろばピーマン」(神栖市保健・福祉会館)



「親子ひろばピーマン」の皆さん

神栖市に、その地域の名産品を名前につけた子育てサロンがあります。月に2回、0～2歳児を対象として火曜日に開催されている「親子ひろばピーマン」です。こちらを開催するのは、代表の焼貝和子さんを中心としたボランティアの皆さん。毎回6～7名程度の方が協力して活動しています。

●「親を褒める」がモットー

このサロンのできたきっかけは、それまで他のグループで子育てボランティアの活動を行っていた焼貝さんが、カナダ生まれのnobody's perfectと呼ばれる親支援システムを知ったこと。「完璧な人間はいない、完璧な親なんていない」というのを根本にして、親に子育てを教えるのではなく、子育ての仲間との会話の中で親自身が気付けるように手助けをしたいと思って始めたのがきっかけ。完璧な子育てをしなくても、子どもはちゃんと育ってくれるという自分達の経験から、親が肩の力を抜いて笑顔でいられるように、子どもが親の笑顔の中で育つように、お母ちゃん達を応援したくてひろばを開いています。この親子ひろばピーマンでは、お母ちゃん達を褒めましょう、お母ちゃんの子育てを否定せず、聞き役に回って、お母ちゃんの大変さ・不安を共有しようというのが、ボランティア仲間の合言葉です」と焼貝さんは話されました。

●ひろばデビューをサポート

ひろばでは、初めての親も参加がしやすいように気遣っています。そのひとつが、ひろばの開かれている市の保健・福祉会館で行われている乳児の4カ月健診でのピラ配り。「今は情報をHP等で見ることもできるけれど、子どもが4カ月位お母ちゃんにはその余裕もないので」とボランティアの塩田さん。また、「公園デビューと一緒に、知り合



神栖市保健・福祉会館

いがないくて1人で来るというのは、すごく勇気がいるようなんです。でも4カ月健診で1度、私達と顔を合わせていることによって、『私達がいるから大丈夫よ』ということで勇気も持って来てくれる方もいるんです」といった効果もあるようです。実際にひろばを訪れると、まず受付でくじを引き、そこに書かれた番号で参加者をグループに分けます。そしてそのグループごとに簡単な自己紹介をしてから、様々なプログラムを行います。そうすることによって、初めて来た親子でもスムーズに会話に入ることができるそうです。

子ども・親・ボランティアがみんな一緒にひろばを楽しみます。



子ども・親・ボランティアがみんな一緒にひろばを楽しみます。

●子育てに役立つ多彩なプログラム



お母さん達にとっても、他のお母さん達との貴重な交流の場です。

ひろばのプログラムとしては、手遊びうたやギターの演奏などに加え、様々な講習会なども実施しています。警察の方を招いてチャイルドシート

の正しい使い方を教わったり、消防署の方に正しい乳児の救急救命の方法を習ったりと、生活の中で重要な知識について学んでいます。またここでは、親たち同士での悩み相談や情報交換も行われています。それをより活発にするために、この日の自己紹介の最後には「かかりつけの病院」についても発表するということが決められ、それぞれの回答からも話題が広がっていました。「〇〇病院は、注射が待たずにできて良いよ」など、子育てに役立つ、生きた情報を手に入れることができます。

会場は日が差し込んであたたかく、床は裸足で遊べるマットが敷かれ、子どもたちはたくさんのおもちゃでのびのびと遊んでいました。お揃いのチェックのエプロンをつけたボランティアの皆さんが見守る中で、親子共々リラックスできる、ふれあいの場がそこにありました。

